

YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2026/2/9(月)

民数記 17章

- 神様がイスラエルの子らに命じたこととは何だったかな？ (2-4)
- 神様がこのようなことを民に命じたのは、アロンの祭司職は主が与えたものであり、彼の野心や能力、またモーセの兄という人間的な立場によるものではないことを示すためであった。主がそれを示した後、イスラエルの民の態度はどうだっただろうか。(12-13) これは、神様に対してどんな態度だろう。
- 「神様に逆らう」とはどういうことだろう。自分が神様に逆らっていると思えることがあれば、正直に祈ってみよう (1ヨハネ1:9)。

2026/2/10(火)

民数記 18:1-20

- 祭司 (アロンとアロンの子孫) とレビ人の役割について整理しよう。どのような違いがあるかな？ (1-7) また、与えられた役割に忠実に生きることの大切さについても考えてみよう。
- 8節からは、祭司に与えられるものについて書かれている。彼らは民の聖なる捧げ物の一部を永遠の割り当てとして与えられた。しかし、相続地を持つことは許されなかった。それは神様ご自身が彼らへのゆずり (相続) だからなんだ。
目に見えるどんな物よりも、神様と共にあることこそ最大の祝福であることを覚えて歩もう！ → 詩篇73:28

2026/2/11(水)

民数記 18:21-32

- 会見の天幕での奉仕に専念するために、レビ人には民が捧げた十分の一のささげ物が与えられた。そしてレビ人は、受けたものから、さらに十分の一を神様に捧げるように言われたよ。29節を読むと、しかも「その最上の部分」をささげるようにと命じられている。これは僕らが捧げている献金に当てはめると、どういうことになるだろうか。
- ・ 献金をどのような態度や心で捧げているかな？
 - ・ 余ったものではなく、最初に受けた時に神様にささげる分を取り分けよう。そのようにして「最上のもの」を捧げる姿勢を持っていこう！

2026/2/12(木)

民数記 19章

- この章の決まりはイスラエルの子らがどこにいったときの決まりかな？ 2節
- この箇所はイスラエルの人たちが40年荒野で過ごすちょっと前に語られたことだよ。ささげ物の内容から約束の地がとても豊かなことがわかるよね。このことはイスラエルの民の希望にもなったんだ。イスラエルの人たちはただ辛いだけの40年じゃなかったんだね。私たちは普段の生活で困難なこともあるけど、そんな時に思い出す神様の言葉あるかな？ その箇所を読んで今日も出ていこう！ なかったら与えられるように祈ろう！

2026/2/13(金)

民数記 20章

- 民はまたモーセとアロンに逆らって、水がないと文句を言ったね。そんな民たちに対して、神様はモーセにどうするように言ったかな？ 8節を読む。
- 神様がモーセとアロンに命じたことと、実際に彼らがしたことの違いはなんだろう？ 8節と10,11節を比べよう。
- モーセは水を出すために神様に従ったけれど、やり方は言われた通りに行わなかった。神様の言葉の中で従うところと従わないところを作ってしまったかな？ なぜその部分では神様に従えないのか考えよう。

2026/2/14(土)

民数記 21:1-9

- イスラエルの人たちは、神様に誓いを立てて助けを求め戦いに勝利した。だけど、その直後旅の道のことで不満をぶつけているね。何かうまくいっている時に、それが神様からの恵みだってことを忘れてしまうこと、自分の願い中心になって文句が出てしまうことってないかな？
- その罪のさばきとしてイスラエルの人々に神様は蛇を与えた。だけど神様はモーセに青銅の蛇を作らせて、「それを仰ぎ見れば生きる」と約束されたね。それはただ神様のあわれみによるもの。私たちも自分の罪を自分でどうにかすることはできなくて、ただイエス様の十字架の恵みによって救われた者だね。日々、自分の罪を認め、イエス様の十字架の赦しを受け取る歩みをしていこう！

2026/2/15(日)

民数記 21:10-22:1

- 荒野の旅も終わりを迎えようとしており、イスラエルの民たちは神様が約束された地へと近づいていきます。進む中で、敵との戦いも続きますが、神様からの「恐れてはならない」ということばに励ましを受け、勝利を得ていきます。イスラエルが勝利を得たのは、ただ祈って待つのではなく、神様のことばに従い、戦ったからこそでした。
- 私たちの毎日にも、それぞれにとっての戦いがあると思います。その歩みにも、神様は恐れてはならない、と語ってくださいます。
- あなたが直面している、どんなことに神様は「恐れてはならない」と語っているのでしょうか。祈り、神様に聞いてみよう。